



釧路湿原森林ふれあい推進センター

【当ふれあいセンターの活動】

北海道の東部に位置する釧路地方は、釧路湿原と阿寒摩周の二つの国立公園やラムサール条約登録湿地等、雄大な自然環境に恵まれた地域です。

釧路湿原森林ふれあい推進センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、

1. 森林環境教育
2. 地域との連携・普及啓発
3. 自然再生・生物多様性保全

の取組に重点を置き、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。

【雷別^{らいべつ}ドングリ倶楽部】

雷別国有林（標茶町雷別）は、釧路湿原の源流部に当たり、自然環境を維持保全するうえで重要な場所に位置していますが、平成 12 年に高齢級のトドマツ人工林が気象害により立ったまま枯れ、笹地となった箇所が広がっています。当センターでは、この地域を多くの地元住民の参加を得ながら「広葉樹の森林」に再生することを目的として、平成 19 年 7 月に「雷別ドングリ倶楽部」を設立しました。



植樹活動の様子

【広葉樹の森林づくり】

令和 6 年 6 月には、第 1 回目の活動として「広葉樹の森林づくり」を行い、ミズナラ・ヤチダモ・カツラ・キハダを 70 本植樹するとともに、エゾシカやノウサギの食害から植栽木を保護するため保護管で被覆しました。

【自然観察】

令和 5 年度の秋の活動では、「自然観察」で国有林の森林整備箇所や多和平（標茶町）を訪れました。会員の方々は、森林整備の様子や 360° 広がる多和平の景色を堪能されていました。

今年度は、紅葉が深まる時期に、緑ヶ丘森林公園（中標津町）へ訪れる予定です。



令和 5 年度 森林整備箇所見学の様子

【おわりに】

「雷別ドングリ倶楽部」への参加は自由で、今年度は新規会員の方も多く、作業の合間やお昼休みには、樹木や山菜等について話題となるなど、会員同士の交流が盛んで、自分が植樹した苗木の成長を観察できることも貴重なことと思います。

当センターでは、この他にも多様な取組に努めており、これらの活動状況は随時、ホームページで更新していますので、是非、ご覧下さい。